授業科目名・形態	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章　松本和剛	実務経験の有無	無	開講期	４年前期
科目ナンバリング	W6-4014p				

【授業の主題】

本科目は精神保健福祉援助実習の意義について理解するとともに精神障害者のおかれている現状、生活の実態や生活上の困難について学習し、個別指導及び集団指導を通して精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術などを体得することを目的とする。また、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握など、総合的に対応できる能力を習得する。

【到達目標】

１．実習における個人のプライバシー保護と守秘義務、関係書類の取り扱い方を習得できるようになる。
２．実習先の施設・機関と周辺地域の特性を理解し、施設概要に反映させることができるようになる。
３．実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画書を作成できるようになる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション　実習概要、実習施設（配置）の確認
第 2 回　必要書類の準備・説明、個人票の作成
第 3 回　実習施設概要の作成①（事業所等）
第 4 回　実習施設の概要作成②（病院等）
第 5 回　実習計画書の作成①（様式・作成の仕方の説明）
第 6 回　実習計画書の作成②
第 7 回　実習計画書の作成③
第 8 回　事前訪問準備（日程確認等）
第 9 回　実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方①
第 10 回　実習日誌の書き方、カンファレンスシートの書き方②
第 11 回　グループディスカッション～情報共有～①
第 12 回　グループディスカッション～情報共有～②
第 13 回　関係書類の準備と扱い方、プライバシーの保護と守秘義務の理解
第 14 回　実習課題の確認、実習中の注意事項、緊急時の対応
第 15 回　現場体験学習：ゲストスピーカーを招聘（ゲストスピーカーとの日程調整により回の変更があり）

【授業実施方法】

基本的には講義と演習（個人、グループ）で行う。

【事前・事後学習】

・テキストを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。
・精神保健福祉援助実習の意義と実習先の指導者の職務内容を理解し、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助実習

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 ソーシャルワーク実習指導ソーシャルワーク実習（精神専門）中央法規出版、2021.

【参考文献】

授業中に必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

レポートなどの提出や授業への取り組み姿勢 30%、実習関係書類作成等 70%で評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

実習を効果的に進められるよう、これまでの学習や生活上の経験を活かしながら積極的・主体的に取り組むように。
１週間に複数回開講するので、遅刻・欠席がないよう心掛けること。